

写真



＼学びのバリアフリエ体験学習（福祉系列）！！！！／

7月6日（火）

先日事前学習を行った福祉系列の生徒23名が、大森町で、「学びのバリアフリエ体験学習」を行いました。

生徒たちは、「町並み交流センター」から「熊谷家」までの町並みを、2人1組で、1人がアイマスクを付け、もう一人が案内役となり、視覚障害のある方への観光案内を体験しました。普段何気なく歩いている大森の町並みですが、思わぬところに段差や階段があったり、車が通りかかったりし、視覚障害のある方の安全に配慮しながらの誘導は、大変難しそうでした。また、郵便局の前には昔ながらの郵便ポストがありますが、その色や形をどのように説明すればよいのか、観光スポットの説明の難しさを、身を持って体験しました。

その後、「熊谷家」を会場に、担当の職員の方から展示品などの詳しい説明を受け、「視覚障害のある方への説明文の作成」という研究課題の確認を行いました。展示品の多くは、生徒たちが初めて目にするもので、何に使われるものかなど丁寧に説明をいただき、生徒たちは写真を取り、熱心にメモをしていました。

今回の事業は、石見銀山資料館、西部視聴覚障害情報センター、大田市社会福祉協議会の指導により行われました。関係いただいたみなさん大変ありがとうございました。

大田市教育魅力化コーディネーター（邇摩高校） 森本
邇摩高 HP はコチラ ⇒ <https://www.nima.ed.jp/>